

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 **新** 人質立てこもり事件対策装備資機材整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 捜査第一課 電話番号：058-271-2424 (内 4111)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 16,790 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	16,790	0	0	0	0	0	0	0	16,790
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

人質立てこもり事件は、「人質の安全確保」、「付近住民の被害防止」、「警察官自身の受傷事故防止」を前提として被疑者を検挙するといった困難性の極めて高い捜査活動である。

そのため、部隊各班の活動の精度を高めることが重要であり、計画的に訓練を行っているが、犯罪形態の変容に応じて必要な資機材の拡充が求められることから、人質立てこもり事件対策装備資機材の強化による対処能力向上を図るため、早急に防護衣等警察官の身を守る装備を厚くするとともに、機能を強化した装備資機材を増強整備する。

(2) 事業内容

ア 防護衣等の強化

イ 装備資機材の機能強化

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生する特殊犯事件捜査に必要となる負担であり、県の治安対策に資するものであることから県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	16,790	防護衣他の整備
合計	16,790	

決定額の考え方

4 参考事項

各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」に資するため、対処能力の強化を図り、県民の安全を守る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

事件捜査を推進するのに必要となる経費であり、目標・達成率を指標として示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	犯罪捜査は、県民の安全安心に対してだけでなく、直接個人の生命・身体及び財産の保護に及ぶものであり必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	犯罪捜査は、県民の安全安心、生命・身体及び財産の保護に直結し、欠くことのできない事業であり、十分な効果を挙げている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	調達方法など各種事業の効率化を図り、経費節減に努めている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 受傷事故(警察官の殺傷事件)発生の絶無を図るため、早急に増強整備を図るとともに、装備資機材の機能を強化した装備資機材を増強整備する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」の実現と県民の信頼と期待に応えるためにも、継続して装備資機材の増強整備に努めていく。
